

## 大会開催におけるウイルス感染予防対策について

主催者、スタッフ、選手、観客、全員の注意が必要です。大会、会場によって環境や条件が異なりますが、以下を参考にしてください。参加者は各大会における指示に従ってください。

### 大会前 外出前

手洗い、アルコール消毒、うがいを実施。  
日常から体調に注視し、不調がある場合は検温をまめに実施する。  
検温で 37.5℃以上の発熱がある人、また体調不良の人は棄権し自宅待機を促す。  
**体調不良時には会場には絶対行かない。**

### 用意する物

スピード体温計 体に直接ふれないものがベスト  
アルコール液 アルコールティッシュ（出入口2か所、各コート 本部席）  
入館者名簿  
検温パス時に渡すシールやカード

### 大会会場

来る途中で体調不良になった人、37.5度以上熱がでた人は棄権とし、帰宅を促す。  
体調によっては受診を促す。  
選手はこれら検査に有する時間も考慮して余裕をもって行動する。  
グリップ、ボールを除菌ティッシュでアルコール消毒する。  
コートの壁等で汗をぬぐう行為を避け、自分のタオルを使用する。  
手で顔に触れたり、目を擦らないようにする。  
握手や、体の接触は避ける。

### 検温方法

施設に入館する前に選手、スタッフ、観客に検温を実施。  
検温器の消毒も忘れずに行う。

- ◎37.5℃未満であれば入館。証明できる物（カード、シール等）を渡す滞在中携帯してもらう。
- ◎37.5℃以上：即帰宅してもらう。入場不可。

### 入館者記録

すべての入館者の名前と連絡先番号を記載してもらう。

### 施設環境

可能な限り換気に努める。  
出入り口に除菌アルコールを設置。  
試合前に都度、手拭き、グリップ拭き、ボール拭きを実施する。

※アルコール消毒が無くても人はしっかり手洗い、入浴することで、ウイルスを取り除くことが十分できます。アルコールの過度の使用は避けましょう。